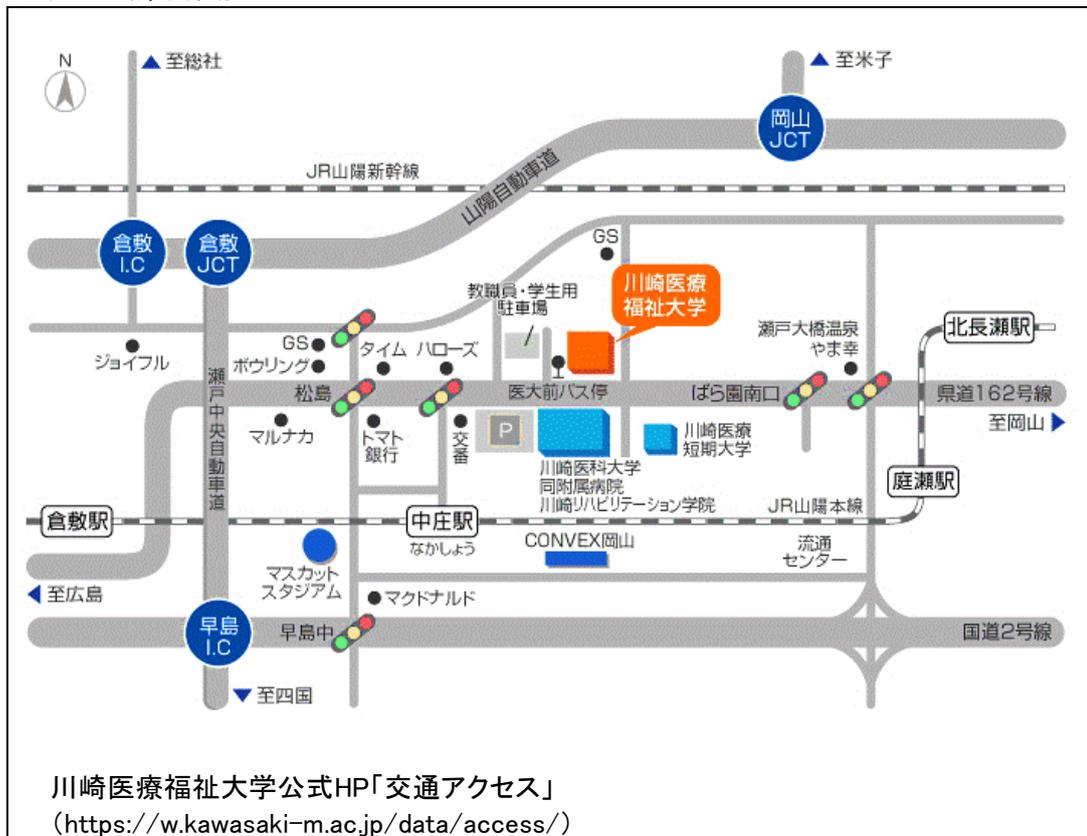


## (7)川崎医療福祉大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2026年4月7日	～	2026年7月28日
	後期	2026年9月28日	～	2027年1月29日
試験期間	前期	2026年7月29日	～	2026年8月12日
	後期	2027年2月3日	～	2027年2月17日
授業時間	1限	8:45	～	10:15
	2限	10:25	～	11:55
	3限	12:45	～	14:15
	4限	14:25	～	15:55
	5限	16:05	～	17:35

### ② アクセス(案内図)



### ③ 担当窓口

事務部 教務課
所在地: 〒701-0193 倉敷市松島 288 番地 本館棟 2 階
電話: 086-464-1021(直通)

#### ④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

##### ・履修申込期限

本学では、以下の期限まで申し込みを受け付けます。  
ただし、所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

前期: 2026年3月16日(月)まで

後期: 2026年9月1日(火)まで

##### ・履修手続

所属大学にて履修手続を行った後、初回授業の当日に、名札・学生証等を配付しますので、教務課窓口までお越しください。

##### ・施設利用

- ・本学の在学生と同じ扱いとします。図書館・学食の利用が可能です。
- ・駐車場の利用はできませんが、大学所定の駐輪場の利用は可能です。
- ・図書館の利用方法については下記 HP をご覧ください。

<https://w.kawasaki-m.ac.jp/center/library/>

##### ・特記事項

初回のみ、授業開始の30分前までに本学へお越しください。  
1階防災センターで受付を行い、防災センター係員に教務課へ電話をつなぐようにお伝えください(内線 54226)。

教務課にて説明を行った後に授業をする教室までの案内を行います。

校舎建物内は土足厳禁となっておりますので、受講の際は上履きをご用意ください。

#### ⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://mwweb.kawasaki-m.ac.jp/syllabus/search/s10>

・ 対面授業科目

対面授業			07001	
健康科学論		矢野 博己		
Health Sciences				
1～4 年次	2 単位	春学期	1 コマ	定員 15 名
<b>【授業の目的】</b> 基礎的な教養としての健康づくりの三要素(運動・栄養・休養)について理解を深める。生涯にわたって健康づくりを考えられるようになることを目指す。				
<b>【授業内容】</b> 1. 健康づくりの三要素 2. 生活習慣と寿命 3. 健康観と日本文化 4. 誰のための健康か？ 5. 健康づくりのための運動とは？ 6. 健康づくりと食生活観 7. 供給と消費のエネルギーバランス 8. 疲労と疲労感 9. 積極的休養法 10. ストレス解消としての休養(リフレッシュメント、リラックス) 11. 生体防御(防衛体力)と健康 12. ヘルスプロモーションとは？ 13. 科学技術と健康 14. Aさんの健康づくりプロジェクト(基礎編) 15. Aさんの健康づくりプロジェクト(応用編)				
<b>【テキスト】</b> 上田伸男・矢野博己編『健康づくりの新・運動生理学』(アイ・ケイコーポレーション)(2021)				
<b>【参考図書】</b> なし				
<b>【成績評価の方法】</b> [レポート] 50%(健康づくりプログラムを具体的に作成できているかを評価する。) [受講態度・その他] 50%(授業中の質問に対する、積極的な反応を評価する。) [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。小テスト・中間テストは採点、講義内で解説をする。 [備考] 受講態度とレポートで評価する。受講態度で 50 点、レポートをその内容によって 50 点満点で評価する。レポート課題についてはあらかじめ授業の中で説明する。				

対面授業				07002	
自閉症の理解と支援			小田桐 早苗 他		
Understanding and Supporting Autism					
1～4 年次	2 単位	春学期	1 コマ	定員 15 名	
<p><b>【授業の目的】</b>  授業では、自閉症の理解について、自閉症の人たちがどのような体験をしているか、自閉症の視点に立って学ぶことができることを目指します。そのために、通常の講義に加えて、自らが自閉症支援のために実施される内容を経験することによって、より深く自閉症支援について学ぶ機会も用意しました。こうした体験を通して、自閉症の人たちがどのようなところでつまづきやすいのか、そのための具体的な支援としてはどのようなものを準備すればいいのか、イメージできるようになることを目指します。</p>					
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自閉症をめぐる Q&amp;A</li> <li>2. 自閉症の特性と学習スタイル</li> <li>3. 自閉症の学習スタイルに基づく支援①—スケジュールとワークシステム</li> <li>4. 自閉症の学習スタイルに基づく支援②—マテリアルストラクチャーと物理的整理統合</li> <li>5. 自閉症の人たちの世界を学ぶ</li> <li>6. 自閉症を知ろう—AQ テスト</li> <li>7. 高機能自閉症の人たちの世界</li> <li>8. 適切な目標を立てて行動するには—T-STEP プログラム</li> <li>9. 適切なソーシャルスキルと感情調整の仕方を学ぼう</li> <li>10. 幼児期の支援—療育とは何か</li> <li>11. 学齢期の支援—仲間を見つける</li> <li>12. 就労支援を考える</li> <li>13. 成人期の支援—充実した人生にするためには</li> <li>14. 家族を支援する—専門家との協働者としての家族</li> <li>15. ライフステージに応じた自閉症支援</li> </ol>					
<p><b>【テキスト】</b>  授業ごとに配布資料を作成します。</p>					
<p><b>【参考図書】</b>  なし</p>					
<p><b>【成績評価の方法】</b>  [定期試験] 60%(マークシートによる試験を実施する)  [受講態度・その他] 40%(毎回の出席カードおよび感想が 20%、そして振り返りシート等を用いた自らの学びについてのリアクションペーパーが 20%)  [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。</p>					

対面授業			07003	
生命科学			竹内 雅貴	
Life Science				
1～4 年次	2 単位	秋学期	1 コマ	定員 15 名
<p><b>【授業の目的】</b>  医療・福祉に携わる職種を志す学生にとって、医療の根幹を成す生物学的な知識は必要不可欠である。その一方で、基礎的な生物学は応用的／実用的な医学・薬学・工学などと学問としてのスタンスが異なる。本講義では、あえて純粋な基礎生物学の視点から、生命についての客観的な知識を習得する事を目標とする。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス～生物とは、ヒトとは～</li> <li>2. 生物の特徴と多様性</li> <li>3. 遺伝情報の複製</li> <li>4. 遺伝子の発現</li> <li>5. 遺伝子発現の調節</li> <li>6. [1]～[5]の授業の振り返り</li> <li>7. 細胞の膜構造と細胞小器官</li> <li>8. 細胞骨格</li> <li>9. 代謝・生体エネルギー</li> <li>10. 細胞周期</li> <li>11. シグナル伝達</li> <li>12. 生殖と減数分裂</li> <li>13. 個体発生と細胞分化</li> <li>14. 系統発生と生物進化</li> <li>15. 生物としてのヒトとは</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>  東京大学生命科学教科書編集委員会編『生命科学』(羊土社)(2009)  適宜、資料を配布する。</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 翻訳『細胞の分子生物学』(ニュートンプレス)(2017)  Bruce Alberts [ほか] 著 ; 青山聖子 [ほか] 訳『Essential 細胞生物学』(南江堂)(2016)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  [レポート] 40%(講義の中から各自が興味を持った内容について、自らの疑問を調べ、解き明かす形式でのレポートを課す。)  [小テスト・中間テスト] 30%(遺伝子発現の調節までについて、記述式のテストを行う。)  [受講態度・その他] 30%(毎回の講義において、理解できた事／疑問点をセットで提出。出欠確認も兼ねる。)  [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。小テスト・中間テストは採点、講義内で解説をする。  [備考] 授業中の積極的な質問や発言を歓迎し、評価する。(チャットなど)</p>				

対面授業			07004	
ヒューマンセクシャリティー論			谷野 宏美 他	
Human Sexuality				
1～4 年次	2 単位	秋学期	1 コマ	定員 15 名
<b>【授業の目的】</b> 性と生殖について医学的/科学的観点から捉えるとともに、「性」を通して見える世界に多方面からアプローチし、実社会の動向を踏まえてジェンダー、セクシュアリティに関わる課題の解決方法について考察する。				
<b>【授業内容】</b> 1. ガイダンス、リプロダクティブ・ヘルス/ライツとセクシュアル・ライツ 2. ジェンダー・セクシュアリティ 3. 女性の身体・性 4. 男性の身体・性 5. 妊娠・出産・育児 6. 性感染症の現状と予防対策 7. 日本における性教育の現状と課題 8. 性の多様性と性別違和、その対応と現状 9. 性的同意と性暴力、性犯罪の現状と対応 10. 現代の HIV 感染症を考える 11. 生命倫理について考える 12. 不妊と生殖補助医療 13. 更年期・老年期に起こりやすい健康問題—排尿機能障害(尿失禁)と骨盤底— 14. 月経と関連する疾患について 15. ワーク・ライフバランス、まとめ				
<b>【テキスト】</b> なし				
<b>【参考図書】</b> なし				
<b>【成績評価の方法】</b> [レポート] 50%(レポートの内容) [プレゼンテーション] 10%(質疑応答、態度など) [受講態度・その他] 40%(リアクションペーパーの記述内容) [学修成果に対するフィードバック] リアクションペーパーは必要に応じて次回以降の講義内でコメントする。				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

川崎医療福祉大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印

写真 貼付
----------

この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等							
学部・学科・学年	学部			学科		年	
学生番号		性別	生年 月日	西暦		年	
		男・女		昭和・平成	年	月	日
現住所	〒 -  Tel ( ) -						
メールアドレス							

\* 履修受付締切日：前期：3月16日(月)まで 後期：9月1日(火)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
07001	健康科学論	教養	矢野 博己	2	春 学期	1~4	定員 15 名	水 12:45~14:15		
07002	自閉症の理解と支援	教養	小田桐 早苗 他	2	春 学期	1~4	定員 15 名	水 12:45~14:15		
07003	生命科学	教養	竹内 雅貴	2	秋 学期	1~4	定員 15 名	火 8:45~10:15		
07004	ヒューマンセクシャリティー論	教養	谷野 宏美 他	2	秋 学期	1~4	定員 15 名	水 12:45~14:15		

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用 (単位互換履修科目 履修願貼付)	計
	1 枚	1 枚	2 枚